

LiveShell Wファームウェア更新について①

テロップ機能強化

4月28日(金)予定

現状

テロップ画像4枚からどれか1枚、テキスト2枚(合計3枚)

新ファーム

文字と画像をレイヤー数無制限で組み合わせた物を用意して呼び出し可能に

例:

画面上部中央に文字テロップ

右下と左下に別々の画像テロップ

既存のファームウェアで行うとテロップ画像2枚を事前に合成しておく必要があるがLiveShell Studio上でレイヤー処理できる

この形で記録できるので他のテロップを呼び出した後に1クリックで戻せる



LiveShell Wファームウェア更新について②

メモリー機能

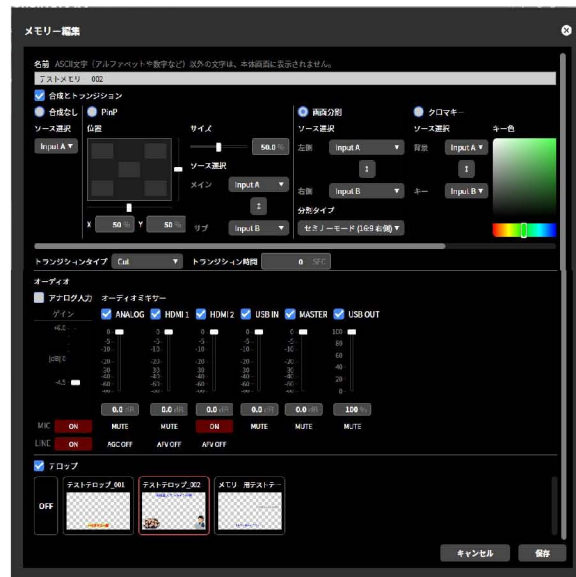
5月中旬予定

様々な操作を組み合わせてマクロの様な形で保存しておく。
画面合成、テロップ適用、音量調整をまとめてマクロ化できるのが特徴。

様々な作業を保存したメモリーを一度クリックするのみで完了できる様になる。
メモリー自体は100以上保存できるので、通常の現場で不足することはない。

後述のキーコンフィグ・別売りコントロールパッドとの組み合わせで更に運用しやすくなる。

メモリー編集画面



メモリー一覧



LiveShell Wファームウェア更新について③

キーコンフィグ機能

5月中旬アップデート予定

LiveShell W本体、LiveShellにUSB接続したキーボードなどに各種操作を割り当てることができる。

*LiveShell Studioを運用しているPCのキーではないので注意。

LiveShell W正面のMEMORYボタンはもちろん、全てのボタンを使用可能です。

ボタンの組み合わせも可能。(MEMORY + 映像セレクトAなど)

基本的な操作はもちろんできますし、さきほどのメモリー機能を特定のキーに割り当てることもできます。

同時期に発売予定のLiveShell コントロールパッドは6ボタンですので、6種類のメモリーを割り当てておくと便利です